

3 ロジックモデル

番号	個別施策	番号	施策の効果	番号	目指す姿
【全圏域】					
E	岐阜県子ども医療電話相談（#8000）事業の更なる周知、応答率や相談対応の質の向上	②	岐阜県子ども医療電話相談（#8000）事業の推進	3	子どもの健康を守るため、家族等を支援する体制の構築
		指標	岐阜県子ども医療電話相談（#8000）の件数 ●	指標	乳児死亡率（出生千対） ●
A	PICU（小児集中治療室）の整備に対する支援	指標	岐阜県子ども医療電話相談（#8000）の応答率 ●	指標	幼児死亡率（出生千対） ●
B	医療的ケア児及びその家族を支援するため、医療・保健・障がい福祉等の多職種の連携の促進				
C	災害時小児周産期リエゾンの養成及び技能維持のため、養成等研修への医師等の派遣	①	医療資源に対応した小児医療体制の確保	4	新興感染症の発生・まん延時や災害時に備えた小児への対応の充実
		指標	災害時小児周産期リエゾン任命者数 ●		
D	平時から新興感染症のまん延時に備えた体制の整備				
F	小児救急医療拠点病院の運営に対する支援	③	小児の救急搬送の円滑化	1	症状に応じた地域の小児医療が確保される体制の構築
G	小児救命救急センターの必要性を検討	⑤	小児救命救急センターが未設置	指標	乳児死亡率（出生千対） 再掲 ●
		指標	小児救急搬送件数に占める受入照会件数4回以上事例の割合 ●	指標	幼児死亡率（出生千対） 再掲 ●
		指標	小児救急搬送件数に占める現場滞在時間30分以上事例の割合 ●		
E	岐阜県子ども医療電話相談（#8000）事業の更なる周知、応答率や相談対応の質の向上 再掲	④	医師不足に伴う小児科医師の負担増加及び小児医療機能の地域偏在の緩和 ※医師確保については、別冊「医師確保計画」参照		
【中濃圏域】					
H	小児救急医療拠点病院の必要性を検討 再掲	⑥	小児救急医療拠点病院が未設置	2	医療機関・機能の集約化・重点化
F	小児救急医療拠点病院の運営に対する支援 再掲				

※●は国の重点指標